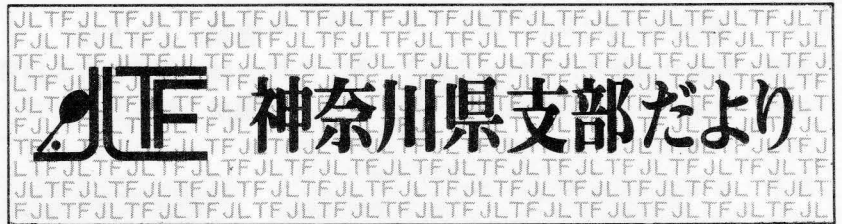


第32号



事務局

河田靖子

県テニス協会 会長・副会長にうかがいました

日本テニス協会顧問
関東テニス協会副会長
神奈川県テニス協会会長

福井 勇

神奈川県テニス協会副会長

中村 進

日本女子テニス連盟神奈川支部の皆様、日頃の御活躍に敬意を表し、益々御発展を祈念いたします。

私は、今は神奈川県在住ですが、幼年時代は愛知県蒲郡の戸数五百戸足らずの海辺の寒村で育ちました。尋常四年生の時の受持ちは、代用教員の鈴木茂三郎先生と福井馨先生のお二人でした。この福井馨先生は、私の親類筋で岡崎中学時代に鷹部屋福平君と組んで第一回の浜寺大会（大毎主催）に優勝されました。

前出の鈴木茂三郎先生は、まぎれもなく後の社会党代表となられた先生です。

私は今年88才、米寿の老人になりましたが、テニス界の方々は、私がそんな超年齢のおじいさんとは思ってもらえないようです。残念ながら私は背も高くないし、テニスで走りまわれるようなスマートな体型とは誰も思ってくれないようです。とはいえ、私の一生はテニスに明けテニスに終る一生であったように思われなりません。選手としては大正15年の明治神宮競技大会に出場しました。この大会は今の国体の前身ともいべきもので、私は浜松高等工業の主将でしたが、試合では後のデ杯選手相沢君に負けてしまいました。それ以後は、社会人となってトーナメントには一切出場せず、余技というか研究というか、世界のテニス界を知るために、ウインブルドン、ローランギャロ、全米と見学の年月を重ねて今日に至っています。以下、日本テニス界の事も含めて次号に譲ります。

日頃は、県協会や各市協会に女子連の方々が大変御協力下さって感謝に耐えない次第です。この機会に厚く御礼申しあげます。

① 県協会からみた女子連

県協会にとって女子連の活動は、医学的表現を使うと（中村氏は小児科医をなさっています）ビタミン剤の働きといえます。欠乏すれば生命の根源がおびやかされ、命を失うことさえあります。少くとも光り輝やく人生ではありません。必要欠くべからざる潤滑油ですね。とはいえ、前面に押出して派手な動きをなさらないところで女子連の奥床しさと底力を感じます。

② 女性とテニスのかかわりよう

週日のコートをフルに活用されている女性のパワーが今日のテニス普及発展に大きく貢献しています。昼ひなかからラケットかついでいざテニス、家庭は大丈夫かな？などの陰口は心配無用。テニスをする女性は、しっかり家庭も管理していると思います。

③ 私のテニス人生

旧制中学二年生からテニス選手となって60年。当初は自分のためのテニスに集中・熱中 —— 強くなろう 負けないように
次の時代は仲間と共にするテニス —— チームの団結と融和 皆と楽しむ仲間づくり
晩年は人のためのテニス — 良きテニス環境を。
私にとってテニスは内面的には自己を超越して無の境地に至る修練の場であり、行動面では奉仕の場になるものです。

祝祝祝祝祝 全国47都道府県支部結成達成さる 祝祝祝祝祝

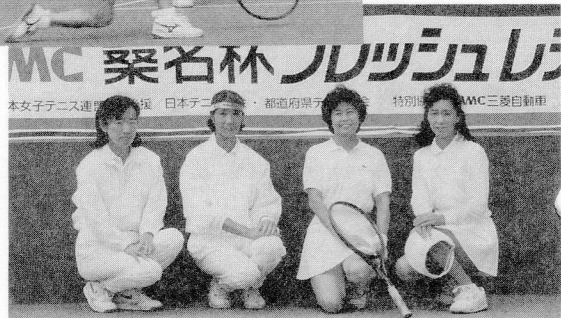
奈良県、大阪府の女子連加入で、当初よりの悲願であった全国47都道府県の支部結成が達成になりました。（ちなみに神奈川県は昭和44年に加入）今後の女子連の発展と栄光に幸あれ。

第7回 MMC桑名杯

本選

掛山・横溝(プラザテニススクール)	8-4	8-4	7-6 6-5	蓬来 赤崎
田中・奥田(亀の甲山)	8-4			
岩井・松寄(亀の甲山)	8-3	8-4	8-4	8-5
竹下・佐野(瀬谷グリーン)	8-3			
鈴木・桜井(上郷・八景アシニス)	8-4	8-4	8-4	8-5
高橋・青木(南足柄)	8-4			
伊佐・南八重(湘南口・湘南インドア)	8-4	8-5	8-5	8-5
蓬来・赤崎(霧ヶ丘)	8-5			

参加：予選463組 本選64組
 日時：6月3日～17・18日
 場所：予選4ヶ所 本選 荻原SSC



赤崎・蓬来・竹下・佐野

○優勝して一言

蓬来さん ♪ 積極果敢なサービス・ボレーができたかな

赤崎さん ♀ 波があったけれど、スマッシュが決まったかな

○準優勝でした

竹下さん ♪ 2セット目は少し受身になったかな

佐野さん ♪ 精一杯の試合でした

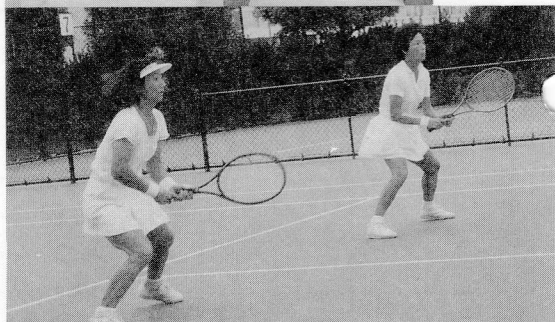
第24回 県支部ダブルストーナメント (B級)

参加：31組 日時：6月17・18・19日 場所：荻原SSC

嵐・河田(本郷台・寒川口)	6-5	6-3 6-4	4-6 7-5	6-3 6-1	小川 岩里
瀬岡・石井(足柄ローン)	6-3				
谷口・関場(鶴沼グ・上郷グ)	6-4	6-2 6-2	6-4 6-1	6-3 6-1	三位
関・岩瀬(相模原・個人)	6-4				
白井・西谷(本郷台・サントリ)	6-2	6-2 6-2	6-4 6-1	6-3 6-1	三位
小川・岩里(YSC・高麗山)	6-2				
姫野・大谷(相模原グリーン)	2-6 6-5	6-2 4-6 6-1	6-2 4-6 6-1	6-2 4-6 6-1	三位決定戦 嵐・河田 神野・星野
神野・星野(湘南ファ・湘南ハ)	6-5				



小川
岩里



○優勝して一言

小川さん ♪ 並行陣でしっかりポイントがとれた (優勝5回女王の風格がありました)

岩里さん ♀ ベテラン揃いの中で優勝できて心から嬉しい。

○準優勝でした

谷口さん ♪ 私達、準優勝ペア三回目です。 関谷
関場さん ♪ 決勝戦までこられて幸せです。 場口

第13回 朝日レディース大会がはじまります

もうエントリーは、いたしましたか。去年は、予選組数 522組の激戦でした。今年も予選、本選そして全国大会、道は険しいけれど、是非全国優勝してあの優勝杯を再び神奈川県へ!!

予選：9月4日～12日 5地区にて

本選：9月24・25・26日 泉中央テニスガーデン 応援で雰囲気盛り上げて下さい!

全国決勝大会：11月13～15日 朝日生命久我山スポーツセンター。 神奈川県代表 頑張れ。

第15回 コカ・コーラ杯

本選

参加：予選 647組(史上最大の激戦) 本選 64組
 日時：予選 5月7~14日 本選 5月27・28日
 場所：予選 6ヶ所 本選 荻原SSC



高杉大勝

○優勝して一言

高杉さん ♪ 決めとつなぎにメリハリがあった。
 大勝さん ♪ 集中できたし、キチンとやれた。

○準優勝でした

小川さん ♪ うーん。
 松岡さん ♪ 流れを変えられず、残念でした。

第3回 関東八都県対抗親睦大会



参加県：東京・埼玉・千葉・群馬・栃木・山梨・茨城
 5月23日：サントリーテニスガーデン

八都県大会選手や役員の方々とはパチリ

出場しました

上郷グリーン 谷村 和子

わあー、何という幸運!! 恐れ多くも我々が出場できるなんて……それというのも昨秋の武石杯に「丈夫で長持ちテニス」のお陰と半ば開きなあって足立さんと出場したことが今日につながったのだ。さて、本大会、開会式から各県強気のV宣言が飛び出す熱気の中、我が神奈川県チームは昨年優勝のプレッシャーにもめげず勝ち進み、いよいよ決勝。相手に2勝を先行され息づまる展開。熱い声援。監督の冷静な助言。隣のコートで自らも戦いつつ、我々に気合をいれてくれた仲間。そしてついに全チームに勝ちこし、優勝!! みんなでつかんだ優勝。思い出ありがとう。

神奈川県チーム代表

- 監督 小川加代子
- No.1 ……斎藤・橋本
- No.2 ……古川・本田
- No.3 ……堀池・長谷川
- No.4 ……井上・岸谷
- 50才以上…足立・谷村

	神奈川	東京	埼玉	千葉	順位
神奈川	3勝	③-2	③-2	③-2	優勝
東京	②-3	2勝1敗	⑤-0	③-2	2位
埼玉	②-3	①-5	1勝2敗	④-1	3位
千葉	②-3	②-3	①-4	3敗	4位

— 4 5 会 —

岐路にたつ親睦会

サンブリッジテニスクラブ 西牧 奎子

初日が雨で流れ、次週には大きな大会と重なりキャンセルが相次ぎ、てんでご舞いをしましたが、どうにか終りほんとうにほっとしています。そもそも四五会には緑豊かな鎌倉の地に、ABCの各ブロックは勿論のこと、関東近県の方々にもご参加いただいて、広い地域での女子連の親睦を図るという目的があったと思われま。それが少しずつ薄れ、45~49才という年令層の決め方、それに対しての人集めの難しさなど、種々の問題が生じてきた様に思われます。試合に次々と挑戦して技術の向上を図るということ、並行して、色々な地域の人たちとなごやかに親睦を図ることも、女子連の大きな大事なことと考えています。遠い夢かなと思いつつもコートフィー、それを捻出する為にしなくてはならない人集めなどを気にしなくてもすむような、女子連独自のコートがあったらなと願う心大です。最後に月並みなしめくりですが、四五会にご参加下さった方、暖かく協力して下さいました方々に、心をこめてありがとうございますと申し上げます。

— ハンディキャップ —

有明の森を振り返って

寄稿 浦野 さん

5月26日(日)、天気快晴、その日東京晴海の東京都立有明テニスの森公園において、日本ハンディキャップテニス連盟主催の「'91日本ハンディキャップテニス大会スペシャルイベント」が行われ、参加者の一人として、その日の思い出を書いてみました。

当日は、各地域から大勢の人が有明の森に集合し、それぞれのレベルに応じたテニスクリニックが行われ、私が参加したクラスは、レベル的には、初中級者のクラスであり基本ストロークを中心に練習を行い、それからゲームへと進んで行きました。ゲームにおいては、みんなとても楽しくゲームを行い数々の好プレーも出ておりそのたびに、コート横の応援の人たちからも大きな拍手がおこり、参加した人たちも、とても気持ちいい汗をかいているように思いました。最後になりましたが、本大会の運営等にご尽力いただきました方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

— す み れ 会 —

開催しました YSC 八木 近子

第六回目を迎えた県支部主催50才以上の親睦会は、4月18日、サントリーテニスガーデンの室内コートに於て参加者98名をもって行われました。4つのチームに別れて対戦し、ダイヤモンドチームが優勝してバラの花束を獲得しました。各チームのキャプテンさんご苦労様でした。お元気にプレーなさる先輩方は、ほゝえましく、心強い限りです。来年も旧交を温め合う楽しい会として存続させたいと思いますと共に、毎年ふえる新人(?)を両手を挙げて歓迎します。

参加しました レニックス 友貞 寛子

4月18日サントリーCでのすみれ会親睦会へ初参加。同じ趣味、同じ年代の人達が醸し出す和やかな雰囲気は、さすがベテランの集い！と感服。役員の皆様のお蔭で、楽しい一日を過ごしました。思えば、転勤族の主人と共に、北海道九州、シドニーと転々。何処へ行っても、テニスに明け暮れ、多くの素晴らしい友人に恵まれ、心身共に、充実した生活を送る事が出来ました。これからも、折返し点を過ぎた後半のテニスライフを大いにエンジョイしたいものです。

— 審 判 —

時は過ぎてゆく

相模原グリーン 金井 嘉子

昭和から平成になり、審判も変わりつつある。ワンマッチ制から時間制になり、集中力と平等が見直されたが満足感や主審とのコミュニケーションは薄れつつある。男女混成チームも採用され定着しつつある。先日ウインブルドンで日本人で初めての審判をなさった八幡氏の楽しい話の中であちらのラインズパーソンは我々よりプラス10歳位年上であるだろうとの励ましの言葉も素直に信じたい。将来は服装もファッションナブルになり、世界中の人々との混成チームが組めたら楽しくなる。ネットやサービスの機械化でハイテクになっても操作は人間だ。舞台に立ったら実に厳しい。上手く出来て当たり前だ。しかしほめられたうれしさは一生忘れない。

積み重ねの力は努力であり、努力の源は自分を支えてくれている囲りの人々に感謝することにあると思う。審判のお陰でテニスを違う角度から見る事が出来て幸せである。これからも心の通い合う豊かな人間関係が審判の向上につながると信じている。



さわやかになる、ひととき。